

みずほマーケット・トピック(2018年8月24日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- ・ 今週のドル/円相場は週後半に上昇する展開。週初 20 日に 110 円台半ばでオープンしたドル/円は実需の買いフローなどを受けて 110 円台後半まで上昇したが、「低金利政策を期待していたトランプ米大統領がパウエル FRB 議長の利上げ姿勢に不満をもらしている」と伝わり 110 円近辺まで値を下げた。21 日は前日の流れを引き継ぎ週安値となる 109.78 円まで続落したが、米中通商協議再開への期待感から 110 円台半ばまで回復した。22 日は「トランプ大統領の元個人弁護士が選挙資金法違反で有罪を認めた」と報道されたことから 110 円台前半まで反落したものの、北米自由貿易協定(NAFTA)の再交渉に関して米国とメキシコが合意に近づいたと伝わり 110 円台半ばまで反発した。FOMC 議事要旨(7 月 31~8 月 1 日開催分)が公表され、トランプ政権の保護貿易政策をリスク要因と見なしていることが示されると直後は 110 円台前半まで下落する場面が見られたが、すぐに 110 円台半ばまで値を戻した。23 日はジョージ・カンザスシティー米連銀総裁が「トランプ大統領の利上げ批判発言は FRB の政策判断に影響しない」と述べたことや米中双方が互いの製品 160 億ドル相当に 25%の追加輸入関税を発動する中、ドル買いの流れが強まり 111 円を上抜けた。その後も上伸し、本日のドル/円は 111 円台前半で週高値を更新している。
- ・ 今週のユーロ/ドル相場は堅調に推移した。週初 20 日に 1.14 台前半でオープンしたユーロ/ドルは、一時週安値となる 1.1395 をつけたが、米中通商協議再開への期待やトランプ米大統領の FRB による利上げ路線への不満を示唆する報道を受けてドル売り優勢地合いとなり 1.14 台後半まで上昇した。21 日は前日にトランプ大統領が利上げを批判するとともにユーロは為替操作されているとの発言を背景にユーロ/ドルは 1.15 を上抜け、ストップを巻き込みながら 1.16 台に乗せる場面も見られた。22 日はユーロ圏における 1~3 月期の労働コストが前年比+2.0%と 2012 年 10~12 月期以来の高水準に回復したことから続伸し、FOMC 議事要旨発表直後にドル売りの流れが強まると週高値となる 1.1623 をつけた。23 日はドル買いが進み 1.15 台半ばまで下落、加えてディマリオ副首相の「移民問題が解決されなければ EU 拠出金を出さない」との発言を受けてユーロ売りが加速し 1.15 台前半まで続落。本日のユーロ/ドルは 1.15 台半ばで推移している。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		8/17(Fri)	8/20(Mon)	8/21(Tue)	8/22(Wed)	8/23(Thu)
ドル/円	東京9:00	111.02	110.49	109.96	110.12	110.59
	High	111.05	110.68	110.54	110.62	111.32
	Low	110.32	110.02	109.78	110.03	110.53
	NY 17:00	110.54	110.07	110.33	110.55	111.31
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1372	1.1438	1.1492	1.1576	1.1586
	High	1.1445	1.1485	1.1601	1.1623	1.1600
	Low	1.1367	1.1395	1.1481	1.1553	1.1530
	NY 17:00	1.1439	1.1481	1.1570	1.1598	1.1536
ユーロ/円	東京9:00	126.22	126.37	126.34	127.47	128.09
	High	126.60	126.45	128.04	128.27	128.76
	Low	125.57	126.12	126.27	127.36	127.92
	NY 17:00	126.51	126.42	127.62	128.23	128.50
日経平均株価		22,270.38	22,199.00	22,219.73	22,362.55	22,410.82
TOPIX		1,697.53	1,692.15	1,685.42	1,698.37	1,698.22
NYダウ工業株30種平均		25,669.32	25,758.69	25,822.29	25,733.60	25,656.98
NASDAQ		7,816.33	7,821.01	7,859.17	7,889.10	7,878.46
日本10年債		0.10%	0.10%	0.09%	0.10%	0.10%
米国10年債		2.86%	2.82%	2.83%	2.82%	2.83%
原油価格(WTI)		65.21	65.42	65.84	67.86	67.83
金(NY)		1,185.05	1,190.51	1,196.07	1,195.83	1,185.56

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・来週、米国では28日(火)にコンファレンス・ボード集計の8月消費者信頼感指数の発表がある。既に発表されている8月ミシガン大学消費者マインド指数(速報)は95.3と2017年9月以来の低水準となった。内訳を見ると、経済の先行きについては87.3と前月から横ばいになる一方、現状認識が107.8と7月(114.4)から急速に悪化し2016年11月以来の低い水準を記録した。なお、指数を発表したミシガン大学は、そのほかに気になる点として住宅価格の高騰などを受けて耐久財への購入意欲を表す指数が2008年10月以来の水準まで落ち込んだことを挙げた。こうした中、8月消費者信頼感指数は126.5と7月(127.4)から低下が予想されている。そのほかの重要な経済指標として、本日に7月耐久財受注(速報)、29日(水)に4～6月期GDP成長率(2次速報値)の発表が予定されている。また、主要国の中央銀行幹部らが参加する米カンザスシティー連銀主催の経済シンポジウム(ジャクソンホール会議)が開催されており、25日まで続く予定だ。なお、今年のテーマは「変化する市場構造と金融政策への影響」である。
- ・本邦では、31日(金)に7月鉱工業生産指数(速報)が発表される。6月は前月比▲1.8%と2か月連続で減少した。もっとも、4～6月期を通してみれば前期比+1.5%と1～3月期(同▲1.3%)に下げた分をほぼ取り戻しているほか、製造工業生産予測調査を見ると7月は前月比+2.7%、8月は同+3.8%と増産が見込まれている。予測指数には上振れバイアスがあるものの、経済産業省が補正した試算値でも7月は前月比+0.2%と回復する見通しである。生産に関連する統計を確認すると、7月製造業PMIは豪雨被害の影響から52.3と6月(53.0)から悪化した。7月実質輸出は前月比+0.3%と増加した。こうした中、市場では7月の鉱工業生産指数は前月比+0.2%と予想されている。

	本 邦	海 外
8月24日(金)	・7月全国消費者物価指数 ・7月企業向けサービス価格	・独4～6月期GDP(確報) ・米7月耐久財受注(速報)
27日(月)	_____	・独8月IFO企業景況指数 ・米7月シカゴ連銀全米活動指数
28日(火)	_____	・米8月消費者信頼感指数
29日(水)	_____	・米4～6月期GDP(2次速報) ・米4～6月期PCEコア・デフレーター(2次速報)
30日(木)	_____	・ドイツ8月消費者物価指数 ・米7月個人消費・所得
31日(金)	・7月失業率 ・7月東京都都区部消費者物価指数 ・7月鉱工業生産指数 ・7月新築住宅着工件数	・ユーロ圏7月失業率 ・ユーロ圏8月消費者物価指数(速報) ・米8月ミシガン大学消費者マインド指数(確報)

【当面の主要行事日程(2018年8月～)】

米FOMC(9月25～26日、11月7～8日、12月18～19日)
 ECB政策理事会(9月13日、10月25日、12月13日)
 日銀金融政策決定会合(9月18～19日、10月30～31日、12月19～20日)
 日米首脳会談(9月下旬に開催予定)、日米貿易協議(FFR、日米首脳会談前に開催予定)

国際為替部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

経済指標カレンダー (2018年8月)

月	火	水	木	金	週末
		1 日本 自動車販売台数(7月) ユーロ圏 製造業PMI(確報、7月) 米国 ADP雇用統計(7月) 米国 建設支出(6月) 米国 ISM製造業景気指数(7月)	2 日本 マネタリーベース(7月) 米国 製造業受注(確報、6月) 米国 耐久財受注(確報、6月)	3 ユーロ圏 サービス業PMI(確報、7月) 米国 雇用統計(7月) 米国 貿易収支(6月) 米国 失業率(7月)	
6 ドイツ 製造業受注(6月)	7 日本 毎月勤労統計(6月) 日本 景気動向指数(速報、6月) ドイツ 貿易収支(6月) ドイツ 鉱工業生産(6月) 米国 消費者信用残高(6月)	8 日本 貸出・預金動向(7月) 日本 景気ウォッチャー調査(7月)	9 日本 マネースtock(7月) 米国 生産者物価(7月) 米国 卸売売上高(6月) ワシントン(アメリカ) 日米貿易協議	10 日本 国内企業物価(7月) 日本 第三次産業活動指数(6月) 日本 GDP(速報、4～6月期) 米国 消費者物価(7月) 米国 財政収支(7月)	
13	14 日本 鉱工業生産(確報、6月) ドイツ GDP(速報、4～6月期) ドイツ 消費者物価(確報、7月) ユーロ圏 鉱工業生産(6月) ユーロ圏 GDP(速報、4～6月期)	15 米国 小売売上高(7月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(8月) 米国 鉱工業生産(7月) 米国 企業在庫(6月) 米国 TICレポート(対外対内証券投資)(6月)	16 日本 貿易収支(7月) ユーロ圏 貿易収支(6月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(8月) 米国 住宅着工(7月)	17 ユーロ圏 経常収支(6月) ユーロ圏 消費者物価指数(確報、7月) 米国 景気先行指数(7月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、8月)	
20	21	22 米国 中古住宅販売(7月) 米国 FOMC議事要旨(7月31日～8月1日開催分)	23 日本 景気動向指数(確報、6月) ユーロ圏 製造業PMI(速報、8月) ユーロ圏 サービス業PMI(速報、8月) 米国 新築住宅販売(7月)	24 日本 全国消費者物価(7月) 日本 企業向けサービス価格(7月) ドイツ GDP(確報、4～6月期) 米国 耐久財受注(速報、7月) 米国 製造業受注(速報、7月)	
27 ドイツ IFO企業景況指数(8月) 米国 シカゴ連銀全米活動指数(7月)	28 米国 S&Pコアラジックケース・シャー住宅価格(6月) 米国 消費者信頼感指数(8月)	29 米国 GDP(2次速報、4～6月期) 米国 個人消費(2次速報、4～6月期) 米国 PCEコアデフレーター(2次速報、4～6月期)	30 ドイツ 消費者物価(速報、8月) 米国 個人消費・所得(7月)	31 日本 失業率(7月) 日本 東京都都区消費者物価(8月) 日本 鉱工業生産(速報、7月) 日本 新設住宅着工(7月) ユーロ圏 失業率(7月) ユーロ圏 消費者物価指数(速報、8月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、8月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(8月)	

[注]*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー (2018年9月)

月	火	水	木	金	週末
3 日本 自動車販売台数(8月) ユーロ圏 製造業PMI(確報、8月)	4 日本 マネタリーベース(8月) 米国 建設支出(7月) 米国 ISM製造業景気指数(8月)	5 ユーロ圏 サービス業PMI(確報、8月) 米国 貿易収支(7月)	6 ドイツ 製造業受注(7月) 米国 ADP雇用統計(8月) 米国 耐久財受注(確報、7月) 米国 製造業受注(確報、7月)	7 日本 毎月勤労統計(7月) 日本 景気動向指数(速報、7月) ドイツ 貿易収支(7月) ドイツ 鉱工業生産(7月) ユーロ圏 GDP(確報、4～6月期) 米国 雇用統計(8月) 米国 失業率(8月)	
10 日本 GDP(確報、4～6月期) 日本 国際収支(7月) 日本 貸出・預金動向(8月) 日本 景気ウォッチャー調査(8月) 米国 消費者信用残高(7月)	11 日本 マネーストック(8月) 日本 第三次産業活動指数(7月) 米国 卸売売上高(7月)	12 ユーロ圏 鉱工業生産(7月) 米国 生産者物価(8月) 米国 ページアップ	13 日本 国内企業物価(8月) ドイツ 消費者物価(確報、8月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト) 米国 消費者物価(8月) 米国 財政収支(8月)	14 日本 鉱工業生産(確報、7月) ユーロ圏 貿易収支(7月) 米国 小売売上高(8月) 米国 鉱工業生産(8月) 米国 企業在庫(7月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、9月)	
17 日本 敬老の日 ユーロ圏 消費者物価指数(確報、8月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(9月)	18 米国 TICレポート(対外対内証券投資)(7月) 日本 金融政策決定会合(～19日)	19 日本 貿易収支(8月) 米国 住宅着工(8月)	20 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(9月) 米国 景気先行指数(8月) 米国 中古住宅販売(8月)	21 日本 全国消費者物価(8月) ユーロ圏 製造業PMI(速報、9月) ユーロ圏 サービス業PMI(速報、9月)	
24 日本 秋分の日 ドイツ IFO企業景況指数(9月) 米国 シカゴ連銀全米活動指数(8月)	25 日本 企業向けサービス価格(8月) 日本 景気動向指数(確報、7月) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(7月) 米国 消費者信頼感指数(9月) 米国 FOMC(～26日)	26 米国 新築住宅販売(8月)	27 ドイツ 消費者物価(速報、9月) 米国 GDP(3次速報、4～6月期) 米国 個人消費(3次速報、4～6月期) 米国 PCEコアデフレーター(3次速報、4～6月期) 米国 耐久財受注(速報、8月) 米国 製造業受注(速報、8月)	28 日本 失業率(8月) 日本 東京都都区消費者物価(9月) 日本 鉱工業生産(速報、8月) 日本 新設住宅着工(8月) ユーロ圏 消費者物価指数(速報、9月) 米国 個人消費・所得(8月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、9月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(9月)	

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2018年8月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年7月分)
2018年8月17日	週末版(2018年上半期の対米資本フローの整理～色褪せる「カネ余り」,「ゴルドイロックス」～)
2018年8月15日	イタリア国債利回りの急騰～もう1つの潜在的危機～
2018年8月14日	第二次資本流出局面が始まったのか?
2018年8月13日	トルコショックの真の脅威は「欧州難民危機」の再燃
2018年8月10日	週末版
2018年8月9日	ボンド安が支えるユーロ堅調～元安、トルコリラ安も～
2018年8月8日	2018年上半期の円相場の基礎的需給環境
2018年8月7日	中国の米国債売却はあり得るのか?
2018年8月6日	ソフトデータが暗示する世界経済失速
2018年8月3日	週末版(BOE利上げの正しい読み方～市場の本音は「理解に苦しむ」～)
2018年8月2日	FOMCを終えて～肅々とオーバーキルを予想～
2018年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて～いつまでもチャンスは無い～
2018年7月30日	メインシナリオへのリスク点検～いよいよ「伝家の宝刀」?～
2018年7月27日	週末版(ECB政策理事会を終えて～金利ガイダンスの正しい読み方～)
2018年7月26日	日銀正常化観測と日米貿易協議(FFR)の関係性
2018年7月20日	週末版(「グレートモデレーション」再来を疑う時～「保険の売り」は慢心の表れ～)
2018年7月19日	危うい「理由なきドル/円上昇」～金利・物価情勢は支持せず～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年6月分)
2018年7月17日	貿易戦争懸念と為替市場の現状～一部市場に異変も～
2018年7月13日	週末版(「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」～米国のクレジットスプレッドは着実に拡大中～)
2018年7月12日	ドイツ住宅市場の現状と展望～見過ごされる「バブルの芽」～
2018年7月10日	混乱を深めてきた英国のEU離脱プロセス～論点整理～
2018年7月9日	米中間戦の時～欧州も巻き込み貿易大戦の様相か?～
2018年7月6日	週末版
2018年7月5日	ECBを待ち受ける険路～「試験の秋」～
2018年7月4日	EUが迎える新たな危機～債務危機から難民危機へ
2018年7月3日	米中貿易摩擦の読み方～「返り血」は避けたい米国～
2018年7月2日	2018年上半期を終えて～予測の王道は変わらず～
2018年6月29日	週末版
2018年6月27日	メインシナリオへのリスク点検～再び先鋭化した保護主義～
2018年6月26日	またも生き残ったメイ英首相～EU離脱法案の成立～
2018年6月22日	週末版
2018年6月21日	ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機
2018年6月20日	「ユーロ危機2.0」への警告～米国とイタリアの挟撃～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分)
2018年6月19日	改めて整理する「中立金利との距離感」～分水嶺～
2018年6月15日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「APPIはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案～)
2018年6月14日	FOMCを終えて～「後ろめたさ」を抱きつつの運営に～
2018年6月13日	米朝首脳会談～市場の関心は「非核化完了」or「協議決裂」～
2018年6月12日	アベノミクス高値「125.86円」から3周年
2018年6月11日	FOMCプレビュー～テーマは「中立金利との距離感」～
2018年6月8日	週末版(外国人労働者の受け入れ拡大について～成長を望むなら～)
2018年6月7日	主要な景気先行指標の現状～世界経済の失速は露わに～
2018年6月6日	ECB政策理事会プレビュー～イタリア危機を越えて～
2018年6月5日	イタリア危機は去ったのか?～このままでは済まず～
2018年6月4日	鮮明になった「G6+1」の構図
2018年6月1日	週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか～イタリア発スペイン経由南米行き?～)
2018年5月30日	17年末の本邦対外資産・負債状況～安全通貨「円」の本領～
2018年5月29日	続・イタリア政局の現状と展望～ECBが被る誤算～
2018年5月25日	週末版
2018年5月23日	イタリア政局の現状と展望～論点整理～
2018年5月22日	「双子の赤字」と整合的なドル安予想
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年4月分)
2018年5月21日	上がらない米インフレ期待から何を讀むべきか?
2018年5月18日	週末版(続・米金利上昇の余波を受ける新興国について～金融市場は「我慢比べ」の段階に～)
2018年5月17日	軟化するユーロ相場の現状と展望について
2018年5月16日	次期NY連銀総裁の考える中立金利の在り方について
2018年5月15日	APPの総括と今後の展望～仏中銀総裁講演を受けて～
2018年5月14日	米金利上昇の「負の側面」～家計・企業・海外～
2018年5月11日	週末版
2018年5月10日	最近のユーロ圏経済の失速について
2018年5月9日	海外企業買収と円相場について
2018年5月8日	米金利上昇の余波を受ける新興国について
2018年5月2日	メインシナリオへのリスク点検～通商政策リスクは顕在～
2018年5月1日	日銀金融政策決定会合～市場は「誤解」してきたのか?～
2018年4月27日	週末版(ECB政策理事会を終えて～利上げはユーロ高との戦いに～)
2018年4月26日	米10年金利「3%」をどう解釈するか
2018年4月25日	日銀金融政策決定会合プレビュー～微修正の決断はまだ先～
2018年4月24日	ECB政策理事会プレビュー～重要決定前の露払い～
2018年4月23日	節目を迎える投機ポジション～短期目線に振らされるべからず～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年3月分)
2018年4月20日	週末版(日米首脳会談を終えて～「古くて新しい」問題、とライトハイザー対策～)
2018年4月18日	IMF世界経済見通しを受けて～強まった警戒色～
2018年4月17日	日米首脳会談プレビュー～見るべきポイント～
2018年4月16日	為替政策報告書の正しい読み方～論点の整理～
2018年4月13日	週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて～明確なユーロ高懸念～)
2018年4月12日	続・残業代規制の影響～閣議決定を受けて～
2018年4月11日	ユーロ/ドル相場の値動き分析～金利差の観点から～
2018年4月10日	為替政策報告書プレビュー～中長期的に咀嚼すべき～
2018年4月9日	円相場の基礎的需給環境～米金利上昇に頼れず～
2018年4月6日	週末版(保護主義とドル安の関係性～日本に求められる交渉戦略～)
2018年4月5日	ドイツに非はないのか～貿易戦争で考える立ち位置～
2018年4月4日	想定為替レートと実勢相場の関係について
2018年4月3日	クラウディング・アウトとLIBOR-OISスプレッド～新たな懸念～
2018年4月2日	外貨準備構成通貨の現状(17年12月末)～第二次多様化～
2018年3月30日	週末版(日米金利差「3%」はトリガーなのか～3つの注意点～)
2018年3月27日	ユーロ圏経済は本当に磐石なのか?
2018年3月26日	メインシナリオへのリスク点検～安直な円安予想の終わり～
2018年3月23日	週末版(FOMCを終えて～名実共に「引き締め」局面へ～)
2018年3月20日	ECBは来年、利上げするのか?～関係筋発言を受けて～